

令和6年

大田区保育サービス課
保育園看護師



6月 健やか子育てだより

今月のテーマ

♡ 公園での遊ばせ方 ♡

からだを動かして遊ぶことはこどもの心身の発育に重要です。公園はこどもが自由にからだを動かせる場所です。今回は楽しく安全に公園で遊ばせる時のポイントをご紹介します。

【遊ばせる時のポイント】

①見守る人が付き添いましょう

6歳までのこどもには見守る人が付き添うようにしましょう。目を離れたすきに転落による事故も多く発生しています。特に高さのある遊具を使う時は目を離さないようにしましょう。



②遊具ごとの使い方を守りましょう

滑り台の柵を乗り越える、反対側から登るなど本来の遊び方でない遊び方をして大けがになることがあります。正しい使い方を伝えるようにしましょう。



③遊具の確認をしてから遊びましょう

遊び始める前に、遊具に壊れているところがないか、雨の後はぬれて滑りやすくなっていないか等確かめましょう。夏場は滑り台などのスチールやステンレス部分は80℃近くになる場合もあるので注意が必要です。



【公園の遊具にシールが貼ってあるのをご存じですか？】

年齢表示シール



年齢表示シールは、遊具での事故を減らすことを目的として作成されたシールです。左のシールはそれぞれ1-3歳、3-6歳、6-12歳向けの遊具であることを示しています。利用する際は参考にしてください。

SP マーク



SPマークは安全・安心な遊具の目印です。一般社団法人日本公園施設業協会（JPFA）が定めた「遊具の安全に関する基準」に従って製造された安全・安心な遊具であることを証明するマークです。

出典：一般社団法人日本公園施設業協会「なかよくあそぼう あんぜんに2023年版」